

向日市一般廃棄物処理基本計画（案）に関する意見公募（パブリックコメント）の結果について

- 意見募集期間  
令和3年11月19日～12月20日
- 意見提出数等  
○提出人数：13人    ○意見数：46件
- 意見の内容とこれに対する市の考え方  
※寄せられた意見の中で、計画（案）に関連のないものについては、公表の対象から除外しています。  
※寄せられた意見の中で、一部要約しているものもあります。

【計画全般について】

No.	意見の内容	回答
1	減量化数値目標を掲げるには具体的施策が重要だが実効性に乏しい。	本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、一般廃棄物処理に係る長期的視点に立った基本的な方針を明確にする長期計画です。 また、おおむね5年ごとに計画を見直すこととしていますが、向日市廃棄物減量等推進審議会に進捗状況を報告し、適宜計画の見直しを行います。 具体的施策については、各年度毎に策定する「向日市一般廃棄物処理実施計画」にて具体的な施策を取り組んでまいります。
2	ごみ問題は地球環境を守る取組であり、2030年までに二酸化炭素大幅削減を達成しないと、地球規模での環境破壊を止めることができない事態となっています。向日市の計画が15年計画となっていますが、それでは遅すぎます。2030年をめどに計画を早めていただきたいです。	
3	温暖化対策の一環としての対策なら2030年・2050年に節として提示されないのか。	
4	ごみ問題は、数年で解決されない問題で15年の長期計画に具体的な対策がない。自治体の力を発揮してもらいたい。	
5	基本計画（案）に、令和18年度426gと、一人一日の収集ごみ量の数値目標が示されたことは、良かったと思います。 しかし、目標年次が遠すぎるので、もう少し短い期間での中間目標を設定して、それに向けての達成度の検証が必要かと思えます。 とりわけ、当初目的である不適正ごみ（1 不燃ごみ、2 越境ごみ、3 事業ごみ）の減量がどれだけ進んだかの検証はぜひやってください。	
6	向日市独自の分析でCO2削減%を提示できないか。	
7	ゴミの分別以来、どれくらいゴミが減量されたか、当初と、直近3～5年くらいの数値を知りたい。ゴミが増えたと言われる様だが、洛西のマンション建設で人口が増えていることも考慮に入れて、単純に増えたとは思えない。	
		CO2削減目標については別途策定予定の「環境基本計画」にてお示しします。
		家庭ごみの収集量について本計画の基準年（令和元年度）は1人あたり519g/日です。 平成28年度は535g、平成29年度は524g、平成30年度は531gと横ばいになっています。 計画目標は令和8年451g、令和13年度438g、令和18年度に426gとしています。

【計画の取組施策について】

No.	意見の内容	回答
1	ごみの減量に対して、製造者責任や販売者責任が明確化されていない。	本計画策定に携わる「向日市廃棄物減量等推進審議会」にて製造者責任や、販売者責任について議論を重ねました。その結果、「生産者は拡大生産者責任を踏まえ、空きカン、空きビン、ペットボトル、プラスチックトレイなどのリサイクル対象物の回収・運搬・資源化等に責任を持って取り組みます。」と、計画（案）に事業者の役割を明記し、事業活動において分別を徹底したごみの減量や再資源化等に取り組んでいきます。 なお、拡大生産者責任を明確にして、発生抑制、再利用を優先させる仕組みが推進されるよう、全国市長会を通じて国へ要望しています。
2	大量生産・大量廃棄が問題になっていますが、市として、全国と手を結んで、企業への申し入れや行動をおこし、向日市のイニシアチブを示してください。	
3	食品包装のプラスチック等が大変多くなり、償却することによるCO2問題も出てくる。市として、企業に包装方法についても提言する必要があるのでは。	
4	ごみの多くは商品の容器や包装です。国、商品の製造者、流通販売をする側にごみを減らすための工夫と努力を求めることが必要です。 国が主導していく必要があり、個人の努力では限界があります。	
5	向日市の現状認識と課題がほぼ一般市民に向けられ、ペットボトルやプラ包装を多用する企業の責任について、触れられていないことに疑問を感じます。 ごみ減量の目標が達成されなかった場合、家庭ごみの有料化も示唆されていますが、そのような市民に負担を押しつける方法については賛同できません。 向日市が企業の責任を問う取組や、向日市の責任で古紙回収を進めるなどに力を入れていただきたいです。	
6	昔のように容器持参で買い物ができるよう、企業には売り方を、市民には買い方を、申し入れや啓発をされたらと思う。	
7	古紙回収に対する市民の実態をほとんど把握していない。町内会・自治会等の団体での取り組み状況を含めた実態調査を行い、回収に対する市の助成制度を早急に確立すること。市民への協力を呼びかけること。	古紙や古繊維などの回収を行っている事業者の情報提供や、集団回収に対する助成金制度の創設など、計画（案）「第7章 3R促進に係る施策」にて市の役割として取り組むべき方策として掲げています。 より市民の皆様の利便性が高まり、効率よくごみの減量・資源化が図れるよう取り組んでいきます。
8	市が回収方法の検討をし、市民に特に高齢者が出し易い方法を提案してほしい。	
9	家庭ごみ調査の結果、新聞やダンボールなど、資源化できる物が多く含まれていると。中身が見える化されることで、「指定ごみ袋制度を導入」分別とリサイクル意識を高め、ごみ減量と資源化を進めるとしていますが、現状（現場では）新聞やダンボールを分別して出しているのに、燃えるごみと一緒にパッカー車に積み込み込まれています。分別回収する方法を早急に検討すべきではないでしょうか。	
10	紙類の回収を業者任せや町内会・PTA等の集合地点回収に目を向けているが、封筒やスーパーのレジ領収、シュレッダーの細かい紙などは市が回収すればよいのでは。	
11	古紙類の集団回収活動への助成や行政回収など進めていただきたい	
12	向日市は対策として24時間対応のごみステーションを作られました。また、今回は古紙や古着の拠点回収を決められましたので、それについては歓迎します。	
13	すぐできることとして、不燃ごみ回収場に古紙回収コーナーを設けてほしいです。 市民は古紙を出しやすく、業者も回収がしやすくなると思われます。	

【分別ステーションについて】

No.	意見の内容	回答
1	分別ステーションが少なすぎて高齢者は困っています。町内会に1箇所を目標に設置してとの声をよく聞きます。改善が必要です。	空き缶、ビン、ペットボトルなどは市役所に24時間排出できる拠点を整備しましたので、ご利用ください。収集頻度の増加については、計画(案)「第7章 3R促進に係る施策」にて市の役割として掲げ、検討してまいります。引き続き、より市民の皆様の利便性が高まり、効率よくごみの減量・資源化が図れるよう、様々な方策を検討します。
2	空き缶、ビン、ペットボトルなどの不燃物を回収するステーション対策を変更してください。朝の短い時間では出せない人々が困っておられます。前日より出せる準備をしてください。	
3	空き缶、ビン、ペットボトル、その他プラ等の回収ステーションを前日か箱を出してほしい。	
4	分別を進めるためには、余裕を持って前日から回収場所に出せるように考えてほしい。月によっては3週間に1回の収集の時があるので、2週間に1回になるようにしてほしい。	
5	資源ごみを出しやすい時間帯にすることや、回数を増やしてほしい。	
6	不燃物の回収は週に1～2回にしてもらいたい。	

【指定ごみ袋について】

No.	意見の内容	回答
1	長岡京市では指定ごみ袋制度を導入したことで、約13%のごみ減量となった。これは、紙のリサイクル率が向上したからだと思う。また、「すべてのごみを中身の見えない内袋に包んで出すことはできません。」としていることから、更なるごみの分別化が進んだと思う。指定ごみ袋制度の広報を作る際には、これらを参考にしたらどうか。長岡京市も指定ゴミ袋になり、大山崎町も令和4年度に指定ゴミ袋になる予定で、大山崎町に至っては45リットルごみ袋2袋を超えると有料である。(100リットルまでごとに200円)今後、向日市も厳しくせざるを得ないと思う。	貴重なご意見として承ります。
2	ごみ指定袋導入は市民への税金の二重取りであり、止めるべきです。国いいのりの市政を根本から改める良い機会になります。もし、導入するのであれば、市民に無料で提供すべきです。	本市が導入する指定ごみ袋制度はごみ処理手数料を付加しないもので、有料化制度ではありません。指定袋購入時の自己負担額は従来から使用している袋と同程度と想定しています。
3	隠したいごみは袋に入れて指定ごみ袋に入れるというのは無理矢理のこじつけ。指定袋以外の半透明、透明の袋であれば、家庭の出費も減るのではないかと。	
4	制度に反対です。袋を変えることでごみの量が減るとは思われません。市民への啓蒙活動を根気よく行ってください。また、各々の自治会などの協力を求めて市民運動としてごみの減量化を求めたいです。	指定ごみ袋制度を導入した他市の先行事例では、ごみ減量の意識が高まったことで、排出量が減少しております。この制度に移行することは、市民の皆さまのごみ減量意識を高めていただくきっかけになると考えています。また、半透明にすることでプライバシーにも配慮しています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
5	指定袋制度については反対です。透明な袋を使用すれば良いとしてほしい。	
6	個人情報の立場からシースルーのゴミ袋の強制はやめていただきたい。	
7	指定袋導入は有料化ではないと広報されていたのに、今後社会情勢をみてごみの有料化を検討することになっているが、これでは市民に嘘をついているのでは。また、市民が払う税金には水道やごみ収集に使われているとされているが、有料化したら税金を2重に納めることになるのでは。それなら、指定ごみ袋導入は有料化であると、市民に広報するべきです。最初から騙し討ちのようで納得いきません。	令和4年2月から本市が導入する指定ごみ袋制度はごみ処理手数料を付加しないものであり、有料化制度ではありません。他市の先行事例では袋を導入することにより、ごみ減量の意識が高まったことで、排出量が減少しております。そのため、まずはこの制度を定着することに注力してまいります。
8	向日市は減量施策として2022年2月より指定ごみ袋制度を導入するとしていますが、ます市はどうしたらごみが減るのか参考の為、市民に知らせてください。個々減量に努力しています。	ごみ減量について、皆さまが身近に感じ、取り組みやすいよう「広報むこう」を通じて減量方法など市民の皆様方にお知らせします。
9	ごみ袋の指定についての説明会が開かれましたが、時間が限られていて不十分でした。もっと市民の意見を聞くようにして、市の考え方や現状を伝え、コミュニケーションをとって欲しい。話し合いの中で改善点や、お互いの理解が進むのではないのでしょうか。	指定ごみ袋制度の説明は、説明会の他に前出講座も行ってまいります。また、ご意見も環境政策課で承ります。今後、広報や回覧を通じてさらに周知を図ります。

【その他】

No.	意見の内容	回答
1	市はパブリックコメントを実施していますが、市民の意見が十分に反映されたことはほとんどなく、セシモニとして実施されていることがほとんどです。今回のパブリックコメントを真に市民の意見が取り入れられ、なるほど市の姿勢が変わったと、感じられることを望みます。(同旨 1件)	貴重なご意見として承ります。
2	ごみを減らすことは大きな課題です。それは処理施設の問題よりも地球の気候変動のリスクを減らすことに直結しているからです。ごみは大量消費大量生産の社会の問題を考えなおす必要があり、責任は市民にあるわけではありません。	
3	個人の努力としては知れていると思うが、ペットボトル用品は買わない努力をしている。	